

【指標 - 4】 ETC利用率 (現況値：1% H15年度：5% H19年度：大幅増)

現状と問題点

沖縄では、ETCの利用台数(利用率)は増加の傾向にあるが、全国的にみると平均を下回っており、ETC普及が進んでいない状況である。

沖縄自動車道の交通特性は朝・夕の通勤・通学等による交通集中が顕著なことであり、これにより料金所での渋滞が多発してきている。特に西原IC及び北中城ICでは恒常的に料金所渋滞が発生しているためETC利用率の向上による渋滞解消が望まれるところである。

沖縄の有料道路における料金の支払い手段は、現金が最も多く、回数券が約2割を占めている。現在ETCによる割引は、最大で5万円の前納により8,000円分のプレミアムをつけており約14%の割引率となっている。一方、回数券の割引は最大20%の割引率となっており、回数券利用にとってはETC利用のインセンティブが働かない状況となっている。

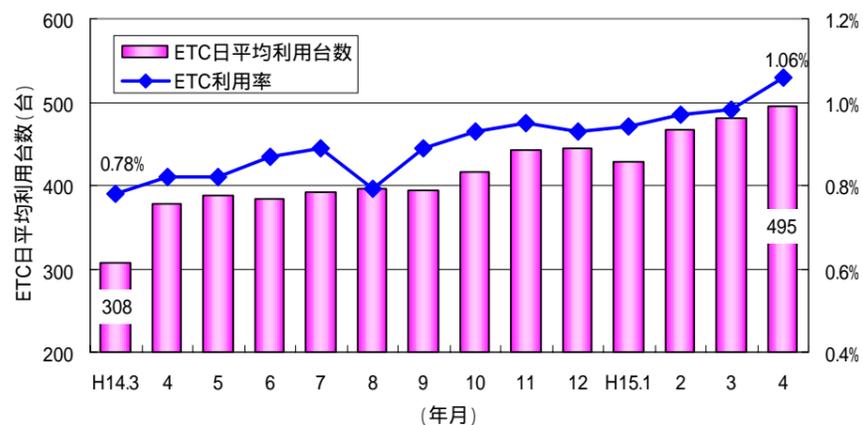


図 沖縄県の高速道路におけるETC利用状況
出典：日本道路公団資料

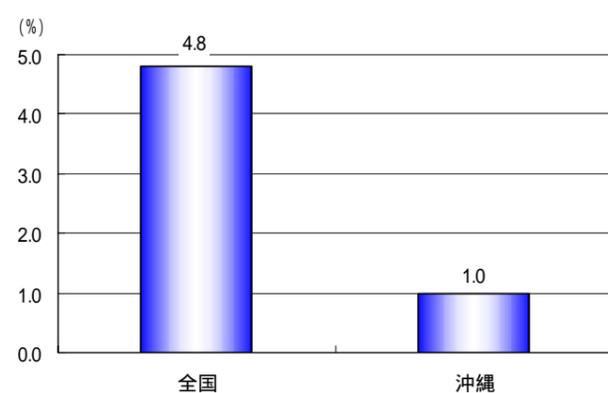


図 ETC利用率 (H15.3時点)
出典：国土交通省資料

路線平均交通量 (平成14年平均)	約23,700台/日 (対前年比106%)
最大区間交通量 (西原IC～北中城IC)	約38,000台/日 (対前年比105%)

出典：日本道路公団資料

講じる施策や事業

関連する施策・事業	平成15年度の主要事業・施策	平成15年度供用予定箇所
ETC路側機器の整備	・沖縄道未整備ICへの整備 (北中城IC、沖縄北IC、屋嘉IC、金武IC)	